

師走俳句・短歌集

みなみうわ俳句会

偶然を重ねて無月の浜に立つ
鳴門橋秋潮大河となり流る
満月や海の中にも家並あり
校庭のほの明るくて無月かな
小豆ほどのサーファー撒かれ秋怒涛
柿照るや一駆越すと街となる
振り向きざま猫の目欄々無月かな
新涼や礼儀正しく挨拶す
咲き初めし匂い定まり無月の夜

御莊俳句会

もう一期バイクと共に十二月
大樟のどつしりとして神の留守
竹百幹音の不思議や冬一人
父と子の竹馬遊び遅足かな
碑の文字に張りつく散紅葉
灯ともるや人の恋しき秋の暮

檳榔子

三日月熟れて口遊ぶ童歌
秋の日のアンパンマンよありがとう

はじめまして。赤ちゃん。

10月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
柏	中村哲太	優介
須ノ川	中尾優	栄一
城辺乙	山木かな	太祐
一本松	土居ひな	孝行
御莊平城	澤近こう	大志
御莊平城	和田み海	翔一

ご冥福をお祈りします。

10月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
御莊和口	久徳 忠	88歳
一本松	西田 みづほ	63歳
御莊和口	橋本 幸男	61歳
中浦	木下 修	59歳
御莊平城	吉田 カネ子	77歳
御莊平城	尾崎 常男	75歳
久家	中野 孝子	82歳
岩水	岡 恵美子	85歳
満倉	古川 定江	97歳
満倉	秋元 スエ子	100歳
家串	前田 カヤコ	87歳
御莊平城	二ツ矢 和敏	81歳
久良	金澤 忠	89歳
緑甲	倉本 桂典	84歳
広見	高田 ルリ	54歳
中浦	坂本 たまさ	58歳
深浦	濱田 兼一	88歳
小浦	平田 美初	71歳
御莊平城	岩村 一二三	87歳
城辺乙	本多 悦子	81歳
増田	岡原 いさむ	83歳
御莊平山	好岡 カズエ	83歳
深浦	山口 ヤエ子	89歳
増田	山崎 しげる	64歳
城辺乙	谷岡 トミエ	86歳
福浦	菊野 慶子	80歳

矢鋪 都
宮下 峰月
中川千代子
濱 初榮
小島 泰子
長尾 則夫
若林八重子
木村 智子
田口ひさ子

尾崎 松恵
加洲勢津子
山本 金子
小島 泰子
吉田 朝子

西海俳句会

修行僧野菊を跨ぐ歩や乱る
ふるさとの歴史探訪菊日和
曼珠沙華疎水に影を跳らせて
ふれあい館真打落語に酔う夜長
今日一日心に描く秋桜
秋の夜の想い出広げ形見分け
実さくろや夕陽のいろを飾りつつ

虫しぐれ夜勤の夫待つ夢を見る
「デイサービス」
蝉しぐれ昼風呂こころ満たされて
運動会駆けて行けない明日退院
なんとなく遠い我子を恋ふる秋
沖からの秋風魚干し日和

新くさの葉短歌会(はこべ)

窓の外みどりしげりて蹲に二羽のセキレイ今日も水浴ぶ
守りてあし幼も嫁ぐ年になりいよよその日も近づきて来し
豪雨にも崩れず残る坂の道明治の人も物運びしと聞く
独り居は物言はぬまま今日も過ぎ暮れ行く庭に小声で唄う
枯草に露置き初める畦道に時期を忘れず彼岸花咲く
あこがれに似たる思ひに購ひし白桃ひとつある夜の卓

若山 節子
山口 和子
吉田モミエ
若林八重子
濱野 康子
山口 董
三好ミキエ
吉田 久江
利根早智江
吉田 朝子
吉田 笑代
吉田 弘定

倉田美津枝
市川コマエ
斉藤トミ子
長田ハル子
西崎 文恵
前田 充



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。